

研究実施のお知らせ

2021年12月09日 ver.1.0

研究課題名

気管挿管下の人工呼吸管理を行った高齢呼吸不全患者の後ろ向き検討

研究の対象となる方

2014年11月から2020年3月の間に島根大学医学部附属病院呼吸器・化学療法内科で、呼吸不全に対して気管挿管および人工呼吸による治療を受けられた65歳以上（治療開始時点）の方

研究の目的・意義

我が国の平均寿命は男性81歳、女性87歳と男女ともに80歳を上回っており、高齢化が進んできています。それに伴い肺炎などの呼吸器疾患による死亡数が年々増えてきています。ご高齢の方が重症呼吸不全に至ることはしばしばあります。重症の場合は気管に管を入れて人工呼吸器につなぐことがあります。そのような処置をしても救命できないことがあったり、負担の大きな治療であり救命できたとしても体力・認知機能を大きく損なってしまったりすることもあります。実際、ご高齢の方の呼吸不全に対して人工呼吸を行っても良くなる方の割合は多いという報告があります。一方で、治療をすることでお元気になる方もいらっしゃるため、どのような状況の方であれば負担の大きな治療に耐え得るか（あるいは難しいのか）ということについて検討することは大きな意義があると考えます。

そこで今回、重症呼吸不全に対して気管挿管下の人工呼吸管理を行った高齢患者さんの背景・治療内容・治療成績について検討するため、本研究を計画しました。さらに65-74歳の方と75歳以上の方の2群で比較し、背景因子・予後・転帰について解析します。

研究の方法

対象となる患者さんのカルテを参照し、その背景・治療内容・治療成績・長期予後などの情報を収集し、生存例の当院退院時における日常生活活動度(Activities of daily living；ADL)が入院前と比較してどのくらい低下したか、生存率の比較だけでなく機能的予後についても解析することで、高齢者呼吸不全における気管挿管の適応について検討します。

本研究では、患者さんの個人を特定し得る情報（名前・カルテID・住所・電話番号など）を取り扱うことはなく、外部に持ち出すことはありません。研究結果は学会や

学術論文等で発表しますが、これら個人情報が含まれることはありません。収集したデータは外部に漏れることがないように、研究者が責任を持って管理します。

研究の期間

2022年4月11日～2024年3月

研究組織

この研究は島根大学医学部内科学講座呼吸器臨床腫瘍学（附属病院 呼吸器・化学療法内科）が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部内科学講座呼吸器臨床腫瘍学 吉原健

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2022年8月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座呼吸器臨床腫瘍学／附属病院呼吸器・化学療法内科

吉原健

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2580 FAX 0853-20-2581